

所 属 鳥取県漁業協同組合（浜村支所）

氏 名 すずき ただあき
鈴木 忠明（58歳）

船 名 りんかいまる
鈴海丸 1.2トン

漁業種類 刺網、一本釣り、ワカメ養殖



～やるからには一生懸命優しい漁業者～

鈴木さんが漁師を目指したきっかけはとにかく海が好きだからだという。シンプルだが語気は強い。30歳過ぎまではサラリーマンとして働いていたそうだ。その後に仕事を辞め、漁師を引退した人から船を譲ってもらい、海の世界に飛び込んだ。

しかし、最初は漁師ではなく遊漁船業をしていたそうだ。遊漁船業を10年ほど営んだのちに、漁師になった。おそらく人に釣らせているだけでは物足りなくなったのだろう。

漁師になって現在10年目。一本釣りはもちろん、ワカメ養殖もやっている。最近は刺し網も始めたそうだ。漁師の先輩に教えてもらうが、頭では分かっているが習得するのはなかなか難しいという。それでも習得できれば、状況に合わせて漁法を変えることもできる。自分の努力が結果として現れた時が、何物にも代えがたい至福の時だそうだ。

休日の楽しみは孫と遊ぶこと。普段から優しいオーラを出している鈴木さんだが、孫にはとりわけ優しいのだろう。孫の話をする鈴木さんの顔は一層優しいおじいちゃんの顔になっていた。

～電気屋でも修行？～

実は鈴木さんは漁師の他に電気屋を営んでいる。サラリーマンを辞めた後、5年間電気屋で修業を積んだそうだ。現在も漁師と電気屋の二足のわらじ。漁に出れなくても休みとはならないようだ。海にいても陸にいてもやることはある。まさに元気な漁業者だ。

（文責：西田 智亮）